

浦添ふ頭緑地(東)利便施設整備工事(R2)

令和2年度

那覇港管理組合 企画建設部 計画建設課

7
鉄骨工事

1 鋼材(7.2.1)
(表7.2.1)

2 高力ボルト
(7.2.2)(7.3.2)
(7.4.2)(7.4.7)

3 普通ボルト
(7.2.3)(7.3.2)

4 アンカーボルト
(7.2.4)(7.3.2)
(7.10.3)
(表7.10.1)

5 デッキプレート
(7.2.7)(7.7.8)

6 スタッ
(7.2.8)

7 柱底均しモルタル(7.2.9)

8 材料試験等
(7.2.10)

9 仮組(7.3.10)

10 溶接
(7.6.3)(7.6.4)
(7.6.7)(7.6.12)

11 塗料の種類
(7.8.4)
(表18.3.1)

12 耐火被覆の種類及び性能
(7.9.2)(7.9.3)

13 その他(7.11.2)
(7.12.5)

記号の種類適用箇所備考

形状及び寸法は、図示による。

種類径緑端距離間隔ゲージ備考

すべり係数試験：【・実施する・実施しない】
試験の方法、試験片の摩擦面の処理:【・図示・】

径緑端距離間隔ゲージ備考

・構造用アンカーボルト

種類緑端距離間隔ゲージ形状及び寸法保持及び埋込み工法

・建方用アンカーボルト

種類緑端距離間隔ゲージ形状及び寸法保持及び埋込み工法

施工部位材質形状寸法備考

デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法:【・図示・】

施工部位材質形状寸法備考

材料厚さ種別備考

引張りを受ける材料の試験等:・実施する【図示()】

仮組の実施:【・実施する・実施しない】

開先の形状エンドタブの有・無及び適用箇所スカラップの形状溶接部の試験

錆止め塗料の種類:【・A種・B種】

種類所要性能及び摘要箇所

(1) 軽量鋼構造におけるボルトの接合方法:
(2) 溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理:
【・プラスト処理
・プラスト以外の特別な処理方法及びすべり耐力等の確認方法:

8
コンクリートブロック・ALCパネル・ECP工事

1 補強コンクリートブロック造
(8.2.2)(8.2.4)
(8.2.5)

2 コンクリートブロック帳壁及び塀
(8.3.2)~(8.3.4)

3 ALCパネル
(8.4.2)~(8.4.5)
(表8.4.2)
(表8.4.3)

4 押出成形セメント板(ECP)
(8.5.2)~(8.5.4)
(表8.5.1)
(表8.5.2)

ブロックの種類及びモジュール呼び寸法

正味厚さ

各部の配筋

ブロックの種類及びモジュール呼び寸法

正味厚さ

各部の配筋

(1) パネルの種類等

パネルの種類単位荷重厚さ長さ構法

(2) 床パネルの耐火性能:【・1時間・2時間】

(3) 外壁パネル構法の場合の伸縮調整目地の目地幅:
【・図示・()mm】

(4) 耐火目地材の適用:【・適用する・適用しない】

パネルの種類表面形状厚さ幅取付工法

9
防水工事

1 防水の種類

(1) 防水の種類等(9.2.2)(9.3.2)(9.4.2)(9.5.2)(9.6.1)

防水の種類厚さ施工箇所

(2) 防水層の種類(9.2.3)(9.3.3)(9.4.3)(9.5.3)(9.6.3)

防水層の種別工法備考

(表9.2.3)~(表9.2.9)(表9.3.1)~(表9.3.3)
(表9.4.1)~(表9.4.3)(表9.5.1)(表9.5.2)(表9.6.2)

(3) その他の材料等

・押え金物:(材質)(寸法)

・絶縁用シート:(材料)

・断熱材:(材質)(厚さ)

・立上り部保護:(材料)(工法等)

・脱気装置:(種類)(設置数)

・仕上げ塗料:(種類)(使用量)

(4) 施工

・下地の処理方法等:()

シーリング材の種類施工箇所試験等

ホリサルファイト系(PS-2)図示※簡易接着性試験・

※簡易接着性試験・

(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。
(2) 保証期間は、工事完成後【3】年間とする。ただし、アスファルト防水は【】年間とする。

2 壁の石張り工法(10.3.2)(10.4.2)(10.5.2)

(1) 工法、加工等

工法厚さ石裏面処理裏打ち処理備考

(2) 乾式工法の方式:【・スライド方式・ロッキング方式】

(3) あと施工アンカーの材質及び寸法:

(4) 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質:

厚さ石裏面処理目地幅備考

3 床及び階段の石張り(10.6.2)(10.6.3)

4 特殊部位の石張り(10.7.1)(10.7.2)(10.7.3)

施工箇所工法石材の厚さ石裏面処理裏打ち処理備考

11 タイル工事

1 タイル(11.2.2)(11.3.2)

(1) タイルの種類

施工箇所形状・寸法うわぐすり吸水率役物色耐滑り性

(2) タイルの試験張り:【・行う・行わない】

(3) タイルの見本焼き:【・行う・行わない】

2 あと張り工法(11.2.7)(11.3.7)(表11.2.3)(表11.3.2)

壁タイル張りの工法等

タイルの種類大きさ工法張付け材料の種類、塗厚等

モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理:
【・MCR工法・目荒らし工法】

12 木工事

1 木材(12.1.4)(表12.1.1)(表12.1.2)

(1) 見え掛り面の表面仕上げの程度

施工箇所種類

・A種・B種・C種・H-種

・A種・B種・C種・H-種

(2) 木材(下地材)の含水率: ※A種・B種
木材(造作材)の含水率: ※A種・B種

2 土壌の防蟻処理

(1) 施工箇所:「防除施工標準仕様書」(公益社団法人日本しろあり対策協会発行)Ⅰ新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。
(2) 処理薬剤: (公社)日本しろあり対策協会又は(公社)日本木材保存協会の認定品とする。
(3) 処理方法:「防除施工標準仕様書」Ⅰ新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。

3 防腐・防蟻・防虫処理(12.3.1)(12.3.2)

木材処理(防蟻・防虫)
(1) 施工箇所:合板、集成材等を除く全ての木材
(2) 処理方法:工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。
(3) 性能区分:性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。
ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1＋保存処理K3とする。
イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。

4 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証

(1) 公益社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
(2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。

13
屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺(13.2.2)

2 折板(13.3.2)

施工箇所屋根葺形式板及びコイルの種類

塗膜の耐久性、めっき付着量の種類の表示記号

厚さ等

施工箇所形式の区分山高山ピッチ

耐力による区分

材料による区分

厚さ

(1) 軒先面戸板の適用:【・有り・なし】
(2) 断熱材張り【・実施する・実施しない】

3 県産瓦葺

4 とい(13.5.2)(表13.5.1)

14 金属工事

1 あと施工アンカー(14.1.3)

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

3 鉄鋼の亜鉛めっき

4 軽量鉄骨天井下地(14.4.3)(14.4.4)

5 金属成形板張り(14.6.2)(14.6.3)

6 アルミニウム製笠木(14.7.2)(14.7.3)(表14.7.1)

7 手すり及びタラップ(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.1)

(1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。
(2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。
【・1名以上配置
・施工面積 m2につき、級技能評価試験に合格した者を1名配置】

材種規格名称材質備考

あと施工アンカーの引抜試験:【・実施する・実施しない】

表面処理の種別をBー1種又はBー2種としたときの複合皮膜の種類:【・A1・A2】(JIS H 8602)
(14.2.2)(14.7.2)(14.8.2)(14.8.3)(表14.2.1)

施工箇所種別表面処理方法

(14.2.3)(表14.2.2)

屋外の軽量鉄骨天井下地
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔

野縁の間隔備考

・補強方法等(図示による)

(1) 金属成形板の種別及び表面処理:
(2) 長尺の場合における伸縮調整継手:

(1) 構成部材による種類:
(2) アルミニウム製笠木本体の材料の表面処理の種別及び複合皮膜の種類は次による。
種別:【・Aー1・Bー1】
種別をBー1とした場合の複合皮膜の種類:
【・A1・A2】(JIS H 8602)
(3) 固定金具の間隔及び固定方法:

(1) 手すり
ア 表面処理の種別をBー1種又はBー2種としたときの複合皮膜の種類
【・A1・A2】(JIS H 8602)
イ 取付け金物等は、全てステンレス(SUS 304)とする。
(2) タラップ
ア 表面処理の種別をBー1種又はBー2種としたときの複合皮膜の種類
【・A1・A2】(JIS H 8602)
イ 取付け金物等は、全てステンレス(SUS 304)とする。
ウ 足掛かり部は、スリップ止め加工とする。

15
左官工事

1 ラス系下地(15.2.4)

2 石膏ボードその他のボード下地(15.2.5)

3 モルタル塗り(15.3.2)(15.3.5)

4 セルフレリング材塗り

(1) 種類:・通気工法(・二重下地・単層下地)
・直貼り工法(・ラスモルタル下地・ラスシートモルタル下地)
・外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法を行う場合()
(2) 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定がある場合の下地の仕様()

材料種類厚さ

(1) **モルタル:・現場調合材料・既調合材料()**
(2) 既製目地材の適用及び形状:
(3) 床の目地の設置及び工法:
(4) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験:
【・実施する・実施しない】

セルフレリング材の種類:【・せっこう系・セメント系】
(15.5.2)(表15.5.1)

工事名称浦添ふ頭緑地(東)利便施設整備工事(R2)

工事年度令和 2年度

工事場所那覇港浦添ふ頭地区

図面名称建築工事特記仕様書(その3)

発注機関那覇港管理組合

縮尺

摘要

図面番号A-04

検印

管理建築士

設計

製図

図面名称株式会社フォーム建築研究所

資格者氏名1級建築士 平良 俊夫

登録番号沖縄県知事登録 第182-2286
一級建築士登録 第109691

所在地浦添市伊祖1丁目32番6号

15
左官
工事
へ
続
き
～

5
仕上塗材仕上
げ(15.6.2)
(表15.6.1)

種類	呼び名	仕上げの形状・工法等

6
マステック塗料
塗り(表15.7.2)

工程	種別	塗料その他

7
せっこうプラス
ター塗り
(15.8.2)(15.8.3)

(1) 下塗り及び中塗りに用いるせっこうプラスター
・既調合プラスター(下塗り用)・現場調合プラスター(下塗り用)
(2) 上塗り:・既調合プラスター(上塗り用)・しっくい塗り

8
しっくい塗り
(15.10.2)

(1) しっくい:・現場調合材料・既調合材料()

9
ロックウール吹
付け(15.12.3)

仕上げ厚さ:

16
建具
工事

1
防火戸等
(16.1.3)(16.1.6)

(1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。
(2) 防犯建物部品の適用は、図示による。

2
見本の製作等
(16.1.4)

(1) 建具見本の製作:【・行う・行わない】
(2) 特殊な建具の仮組:【・実施する・実施しない】

3
アルミニウム製
建具
(16.2.2)
(16.2.4)
(16.2.5)
(表14.2.1)
(表16.2.1)

(1) 建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・防音ドアセット			
・断熱ドアセット			
・耐震ドアセット			

(3) 外部に面する建具の表面処理の種別及び複合皮膜の種類
種別: B-1
複合皮膜の種類:【・A1・A2】(JIS H 8602)
(4) 結露水の処理方法:
(5) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。

4
樹脂製建具
(16.3.2)
(16.3.3)
(16.3.4)
(16.3.5)
(表16.3.1)
(表16.3.2)
(表16.3.3)
(表16.3.4)

(1) 建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・防音ドアセット			
・断熱ドアセット			

(3) 表面色:
(4) 水切り及びげん板等の加工及び組立は、図示による。
(5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス・三重ガラス

5
鋼製建具
(16.4.2)

(1) 建具の性能等

施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・簡易気密型ドアセット			

(3) 鋼板の種類:【・JIS G 3302・JIS G 3317】

6
鋼製軽量建具
(16.5.2)
(16.5.3)
(表16.2.1)

(1) 建具の性能等

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所

(2) 特殊なドアセット等の適用及び等級

ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考
・簡易気密型ドアセット			

(3) ビニル被覆鋼板:【・使用する・使用しない】
(4) カラー鋼板の適用:【・使用する・使用しない】

7
ステンレス製建
具
(16.6.2)(16.6.3)

(1) 建具の性能等

施工箇所	気密性	水密性	耐風圧性	備考(材料等)

(2) 表面仕上げ:【※HL・パイブレーション・鏡面・】

8
木製建具
(16.7.2)
(16.7.4)

(1) かまち戸
かまちの樹種:、鏡板の樹種:
(2) ふすま
上張りの樹種:、縁の仕上げ:

9
建具用金物
(16.8.2)(16.8.3)
(表16.8.1)

(1) 建具用金物の材質、形状及び寸法

形式	金物の種類	見え掛け部の材質	備考

(2) 建具用金物の取付け位置等は、図示による。

10
鍵
(16.8.4)

(1) マスターキー:【・製作する・製作しない】
(2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまと
めて納品する。

11
自動ドア開閉装
置(16.9.3)
(表16.9.4)

(1) 戸の開閉方法:【・引戸・開き戸・折戸】
(2) センサーの種類:

12
シャッター
(16.11.2)
(16.12.2)
(16.12.4)

(1) シャッターの種類:【・重量()・軽量】
(2) 耐風圧強度:
(3) 開閉機能:【・手動式・電動式】
(4) 重量シャッターの場合のシャッターケース:
【・設ける・設けない】
(5) スラットの形式:
【・インターロッキング形・オーバーラッピング形】

13
オーバーヘッド
ドア(16.13.2)

(1) 耐風圧性能の区分:
(2) 開閉機能:【※バランス式・チェーン式・電動式】
(3) 収納形式による区分:

14
ガラス
(16.14.2)
(16.14.4)
(16.14.5)

(1) ガラスの種類及び厚さ等

ガラスの種類	厚さ等	備考

(2) ガラス留め材

建具の種類	材種

(3) 熱線反射ガラスの映像調整:
(4) ガラスブロックの材料及び工法

表面形状	呼び寸法	厚さ	壁用金属枠	補強材	色	金属製化粧カバー

17
カー
テン
ウ
ォ
ー
ル
工
事

1
カーテンウオー
ール
(17.2.2)
(17.2.3)
(17.2.6)
(17.3.2)
(17.3.3)
(17.3.6)

(1) カーテンウオーールの種類:【・メタル・PC】
(2) 性能

耐風圧 性能	耐震 性	水密 性	気密性	耐火性	耐温度 性	遮音性	断熱性

(3) 材料の種類

金属材料	シーリング材	耐火目地材	断熱材	構造ガasket

(4) 先付け材料:【・建具枠・ゴンド用ガイドレール・】
仕様等については、図示による。
(5) メタルカーテンウオーール製品の見え掛け部分の仕上げ:

(6) PCカーテンウオーールの仕上げ:
(7) 構造ガasketを用いるガラスの取付け:

18
塗
装
工
事

1
塗装の種類及
び種別
(18.1.7)
(18.2.2)
-(18.13.2)

塗装面	素地ごしらえ工 程の種別	塗料の名称・種 類	塗装工程の種 別	施工箇所

防火材料の指定【・有・無】

2
保証

(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監
督員に提出する。
(2) 保証期間は、工事完成後【】年間とする。

19
内
装
工
事

1
ビニル床シート
等
(19.2.2)
(19.2.3)

(1) ビニル床シートの材料及び工法

施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ	熱溶接工法の適用
				・有り・無し
				・有り・無し

(2) ビニル床タイル、ゴム床タイル

施工箇所	種類(・形状)	厚さ等

(3) 特殊機能床材の適用:
【・帯電防止床シート又は床タイル・視覚障害者用床タイル
・耐動荷重性床シート・防滑性床シート又は床タイル】

施工箇所	種類(・形状)	厚さ等

2
カーベツト敷き
(19.3.2)
(19.3.3)
(表19.3.1)
(表19.3.2)

施工箇所	カーベツトの種 類・種別	厚さ	パイル 形状等	工法
				・グリッパー・全面接着 ・グリッパー・全面接着

(1) 帯電性の適用【・有り・無し】
(2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。

3
合成樹脂塗床
(19.4.3)

エポキシ樹脂系塗床の仕上げの種類:

20
ユニ
ット
及
び
そ
の
他
工
事

1
フリーアクセス
フロア(20.2.2)

施工箇所	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	帯電防 止性能	漏えい抵 抗

2
可動間仕切
(20.2.3)

施工箇所	構造形式	構成基材	遮音性	表面仕上げ	建具寸法等

3
移動間仕切
(20.2.4)

施工箇所	種類	表面材	操作方法	遮音性	備考

あと施工アンカーの使用:【・有り・無し】材質、寸法等は図示に
よる。

4
トイレブース
(20.2.5)

表面材の材質	脚部の形状及び寸法	ドアエッジの形状及び材質

5
階段滑り止め
(20.2.6)

材種	形状	寸法	備考

6
ブラインド
(20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅	施工箇所

7
ロールスクリー
ン(20.2.13)

操作方式	幅及び高さ	材種	品質等	施工箇所

8
カーテン
(20.2.14)

形式	開閉操作	きれ地の種別等	施工箇所	備考

9
間知石及びコン
クリート間知ブ
ロック積み
(20.4.2)
(20.4.3)

(1) 間知石

材種	目塗り	目地の材種・厚さ等	施工箇所
			図示【A-】

(2) コンクリート間知ブロックの適用がある場合の種類及び質量
区分:【・】

10
くつつきマット

(1) くつつきマットの材種:【・塩化ビニル又はゴム製
・硬質アルミニウム合金製・ステンレス鋼(SUS304)製】
(2) 受け枠の材種:
【・硬質アルミニウム合金製・ステンレス鋼(SUS304)製】

11
流し台ユニット

名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考
流し台				
コンロ台				

21
排
水
工
事

1
排水管
(21.2.1)

材種	管の種類	呼び径	備考

2
側塊、排水枡等
(21.2.2)

(1) 側塊

形状	寸法	備考

(2) 排水枡

種類	適用荷重	備考

22
舗
装
工
事

1
路床(22.2.2)
(22.2.3)(22.2.5)
(表22.2.1)

(1) 路床の種類等

層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験

(2) ジオテキスタイルの適用及び品質:

2
路盤
(22.3.2)(22.3.5)

(1) 車道部の厚さ:【】
(2) 締固め度試験:【】

3
アスファルト舗
装
(22.4.2)
(22.4.4)
(22.4.5)

(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-)・】
(2) 加熱アスファルト混合物等の種類:
【・密粒度アスファルト混合物(13)
・再粒度アスファルト混合物(13)】
(3) シールコートの適用:【・有り・無し】

4
コンクリート舗
装(22.5.2)

(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-)・】

5
カラー舗装
(22.6.2)

(1) 構成及び厚さ:【・図示による(A-)・】
(2) 種類:【・加熱系()・常温系()】
(3) 添加する着色骨材又は自然石
【・図示による(A-)・】
(4) その他【・】

6
透水性アスファ
ルト舗装
(22.7.2)

構成及び厚さ:【・図示による(A-)・】

7
ブロック系舗装
(22.8.1)

(1) ブロック系舗装の適用:【・コンクリート平板舗装・イン
ターロッキングブロック舗装・舗石舗装】
(2) 種類及び寸法等:【・図示による(A-)・】
(3) ジオテキスタイルの適用及び品質:【】

②
植
栽
及
び
屋
上
緑
化
工
事
工
事

1
植栽地の確認
(23.1.3)
(23.2.2)
(23.2.3)

(1) 植栽地の土壌試験:
(2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。
(3) 土壌改良材:
(4) 植込み用土:

2
植樹
(23.3.2)
-(23.3.4)
(23.3.6)

(1) 種類等

樹木の種類	樹高(m)	有効土層の 厚さ(cm)	支柱の形	備考
				整備範囲は図 示による

(2) 新植樹木の枯補償の期間:【※1年・()年】
(3) 移植樹木の枯損処理を行う期間:【※1年・()年】

③
芝張り等
(23.4.2)

(1) 芝の種類: セントオーガステン
(2) 種子の種類及び量:
(3) 地被類

樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当りの コンテナ数

4
屋上緑化
(23.5.2)(23.5.3)
(23.5.4)

土壌層の厚 さ	排水層の厚 さ	樹木の樹種、寸 法、数量	支柱の形式	かん水装置

※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。
※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と
協議すること。

工事名称

浦添ふ頭緑地(東)利便施設整備工事(R2)

工事年度

令和 2年度

工事場所

那覇港浦添ふ頭地区

図面名称

建築工事特記仕様書(その4)

発注機関

那覇港管理組合

縮 尺

摘 要

図面番号

A-05

検 印

管理建築士

設 計

製 図

名 称

株式会社フォーム建築研究所

資格者氏名

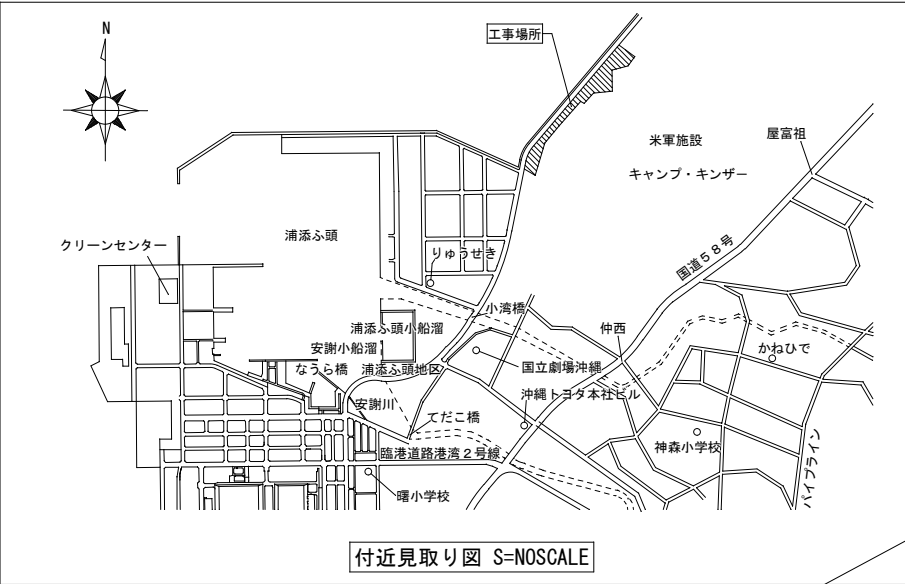
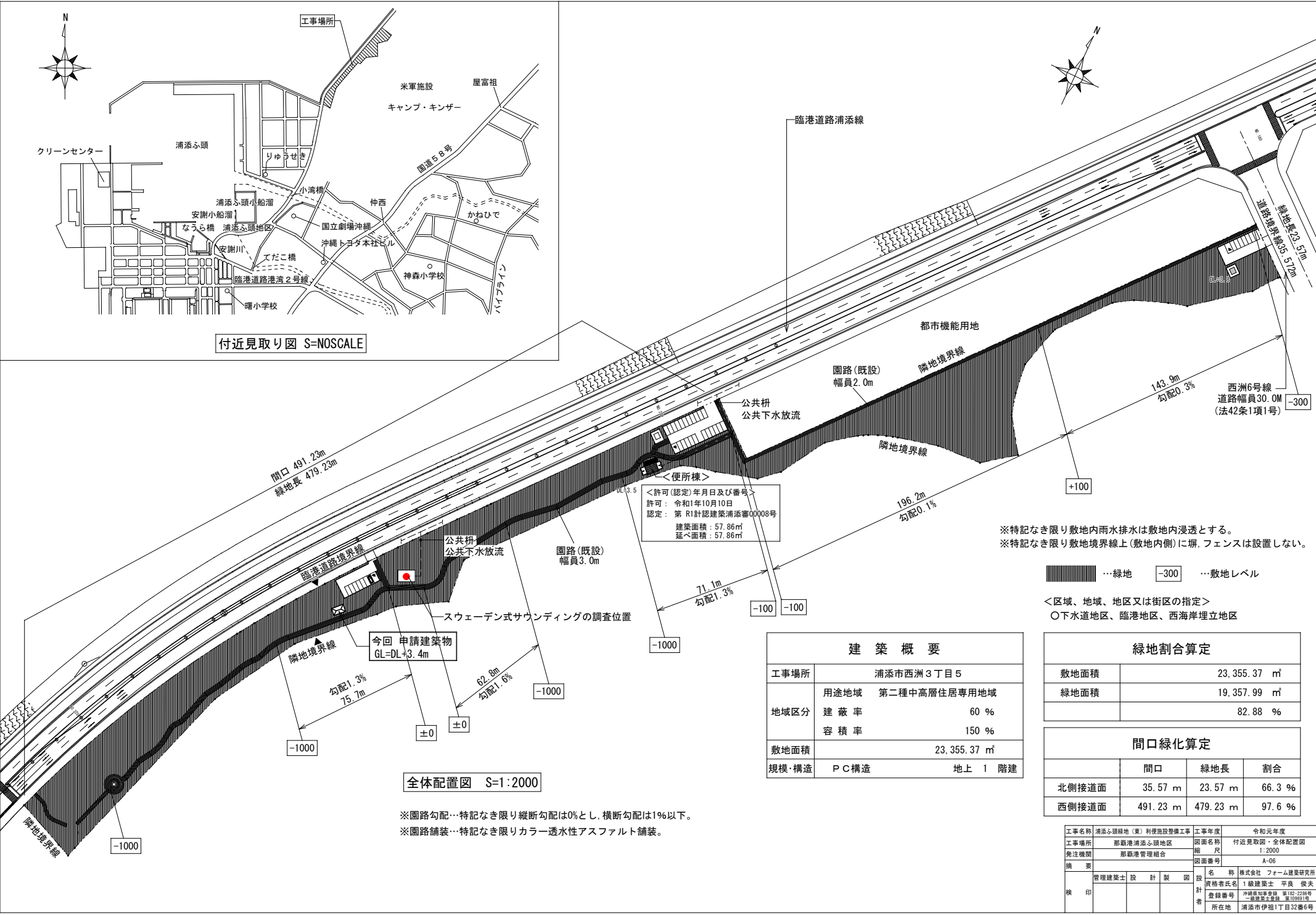
1級建築士 平良 俊夫

登 録 番 号

沖縄県知事登録 第182-2286号
一級建築士登録 第109691号

所 在 地

浦添市伊祖1丁目32番6号



建 築 概 要		
工事場所	浦添市西洲3丁目5	
地域区分	用途地域	第二種中高層住居専用地域
	建 蔽 率	60 %
	容 積 率	150 %
敷地面積	23,355.37 m ²	
規模・構造	P C 構造	地上 1 階建

緑地割合算定	
敷地面積	23,355.37 m ²
緑地面積	19,357.99 m ²
	82.88 %

間口緑化算定			
	間口	緑地長	割合
北側接道面	35.57 m	23.57 m	66.3 %
西側接道面	491.23 m	479.23 m	97.6 %

工事名称	浦添ふ頭緑地（東）利便施設整備工事	工事年度	令和元年度
工事場所	那覇港浦添ふ頭地区	図面名称	付近見取り図・全体配置図
発注機関	那覇港管理組合	縮 尺	1:2000
備 考		図面番号	A-06
検 印	管理建築士	設 計	名 称 株式会社 フォーム建築研究所
	設 計	製 図	資格者氏名 1級建築士 平良 俊夫
			登録番号 沖縄県知事登録 第182-2286号
			一級建築士登録 第10493号
			所在地 浦添市伊祖1丁目52番6号

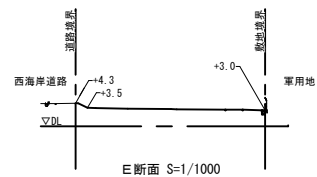
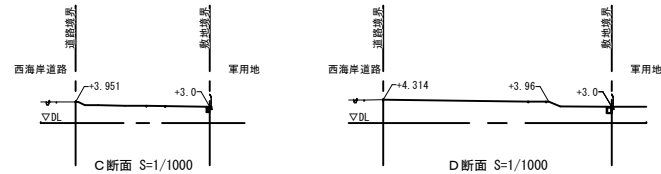
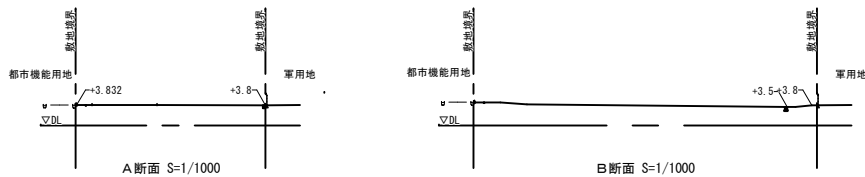
全体配置図 S=1:2000

※図路勾配…特記なき限り縦断勾配は0%とし、横断勾配は1%以下。
※図路舗装…特記なき限りカラー透水性アスファルト舗装。

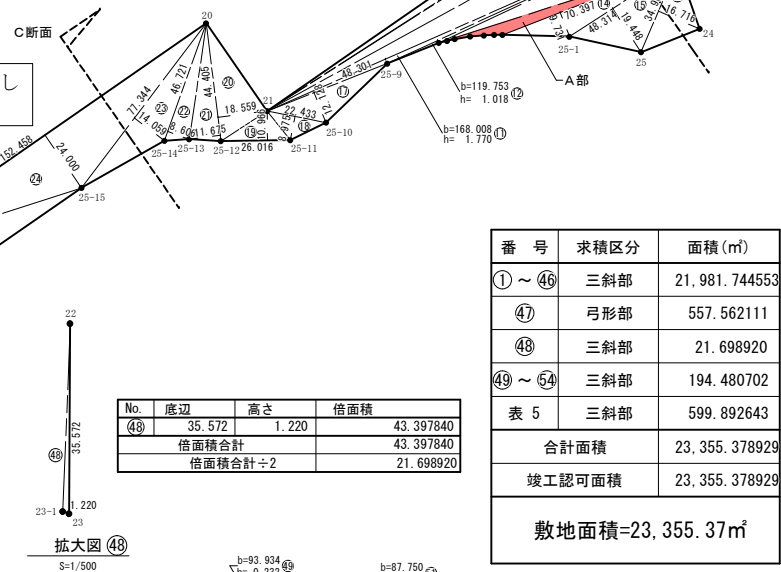
※特記なき限り敷地内雨水排水は敷地内浸透とする。
※特記なき限り敷地境界線上（敷地内側）に塀、フェンスは設置しない。

…緑地 -300 …敷地レベル

＜区域、地域、地区又は街区の指定＞
○下水道地区、臨港地区、西海岸埋立地区



現地盤面と計画地盤面の変更無し
切土および盛土無し



番 号	求積区分	面積 (㎡)
①～④⑥	三斜部	21,981.744553
④⑦	弓形部	557.562111
④⑧	三斜部	21.698920
④⑨～⑤④	三斜部	194.480702
表 5	三斜部	599.892643
合計面積		23,355.378929
竣工認可面積		23,355.378929
敷地面積=23,355.37㎡		

三斜求積表 表 1			
No.	底辺	高さ	倍面積
①	40.593	15.116	613.603788
②	64.694	24.536	1587.331984
③	71.317	9.119	650.339723
④	87.057	12.378	1077.591546
⑤	98.981	4.865	481.542565
⑥	137.431	1.962	269.639622
⑦	339.999	7.000	2379.993000
⑧	202.867	0.590	119.691530
⑨	201.245	11.909	2396.626705
⑩	178.403	14.727	2627.340981
⑪	168.008	1.770	297.374160
⑫	119.753	1.018	121.908554
⑬	99.037	12.062	1194.584294
⑭	70.397	9.731	685.033207
⑮	48.314	19.448	939.610672
⑯	34.963	16.716	584.441508
⑰	48.301	12.128	585.794528
⑱	22.433	8.975	201.336175
⑲	26.016	10.966	285.291456
⑳	44.405	18.559	824.112395
㉑	44.405	11.675	518.428375
㉒	46.721	8.606	402.080926
㉓	77.344	14.059	1087.379296
㉔	152.458	24.000	3658.992000
㉕	107.707	23.988	2583.675516
㉖	37.459	1.628	60.983252
㉗	35.545	13.462	478.506790
㉘	27.509	17.336	476.896024
㉙	27.509	0.933	25.665897
㉚	33.212	7.304	242.580448
㉛	43.127	20.230	872.459210
㉜	45.081	9.465	426.691665
㉝	45.081	25.311	1141.045191
㉞	35.937	8.801	316.281537
㉟	32.577	9.685	315.508245
㊱	32.304	12.075	390.070800
㊲	32.304	9.457	305.498928
㊳	32.486	9.394	305.173484
㊴	36.691	8.328	305.562648
㊵	42.728	7.186	307.043408
㊶	53.098	26.674	1416.336052
㊷	58.803	24.926	1465.723578
㊸	165.862	22.404	3715.972248
㊹	132.652	37.516	4976.572432
㊺	40.123	4.804	192.750892
㊻	9.904	5.293	52.421872
倍面積合計			43,963.489107
倍面積合計÷2			21,981.744553

三斜求積表 表 5

No.	底辺	高さ	倍面積
⑤⑤	33.171	6.933	229.974543
⑤⑥	27.086	8.426	228.226636
⑤⑦	23.792	9.561	227.475312
⑤⑧	27.622	8.248	227.826256
⑤⑨	33.847	6.778	229.414966
⑥①	35.609	1.597	56.867573
倍面積合計			1199.785286
倍面積合計÷2			599.892643

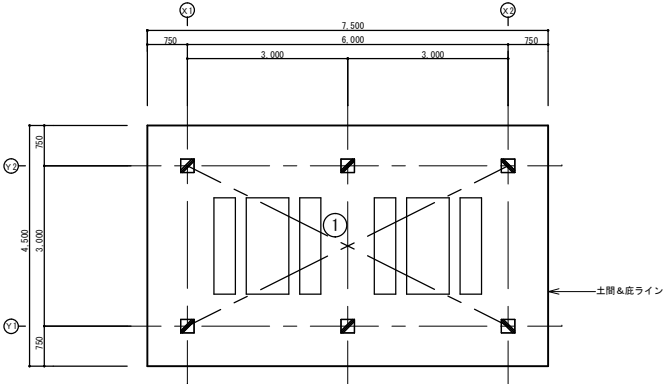
弓形部分

No.	点名	X座標	Y座標	半径	I.A	接線長	SL	弦長	欠円面積
④⑦	1	28259.268	19113.941	685.000	13-54-27	83.546	5.076	165.862	557.562111
	2	28408.155	19187.037						
欠円面積合計									557.562111

No.	底辺	高さ	倍面積
④⑨	93.934	0.232	21.792688
⑤⑩	90.723	0.229	20.775567
⑤⑪	87.750	0.881	77.307750
⑤⑫	82.017	1.243	101.947131
⑤⑬	76.962	1.166	89.737692
⑤⑭	73.296	1.056	77.400576
倍面積合計			388.961404
倍面積合計÷2			194.480702

工事名称	清瀬ふ頭緑地(東)利用施設整備工事(Ⅱ)	工事年度	令和2年度
工事場所	那覇港清瀬ふ頭地区	敷地名称	敷地求積図
発注機関	那覇港管理組合	縮 尺	1:2000
調査	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A-007
検 印		名 称	株式会社 フォーム建築研究所
		資格者氏名	1級建築士 平良 俊夫
		登録番号	沖縄県知事登録 第182-2386号 一級建築士登録 第108091号
		所在地	浦添市伊里1丁目32番6号

休憩所



延べ面積・建築面積 算定表

	今回申請部分	既存部分	合計	
	1棟	1棟		
延べ面積	3×6＝18 (㎡)	57.86㎡	75.86㎡	容積率 0.32%
建築面積	3×6＝18 (㎡)	57.86㎡	75.86㎡	建ぺい率 0.32%
敷地面積	23.355.37㎡			

工事名称	浦添ふ頭緑地(東)利便施設整備工事(R2)	工事年度	令和2年度
工事場所	那覇港浦添ふ頭地区	図面名称	建物求積図
発注機関	那覇港管理組合	縮 尺	1/100
摘 要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A-08
		名 称	株式会社フォーラム建築研究所
検 印		資格者氏名	1級建築士 平良 俊夫
		登録番号	沖縄県知事登録 第182-2376号 一級建築士登録 第109691号
		所在地	浦添市伊祖1丁目32番6号

■仕上表

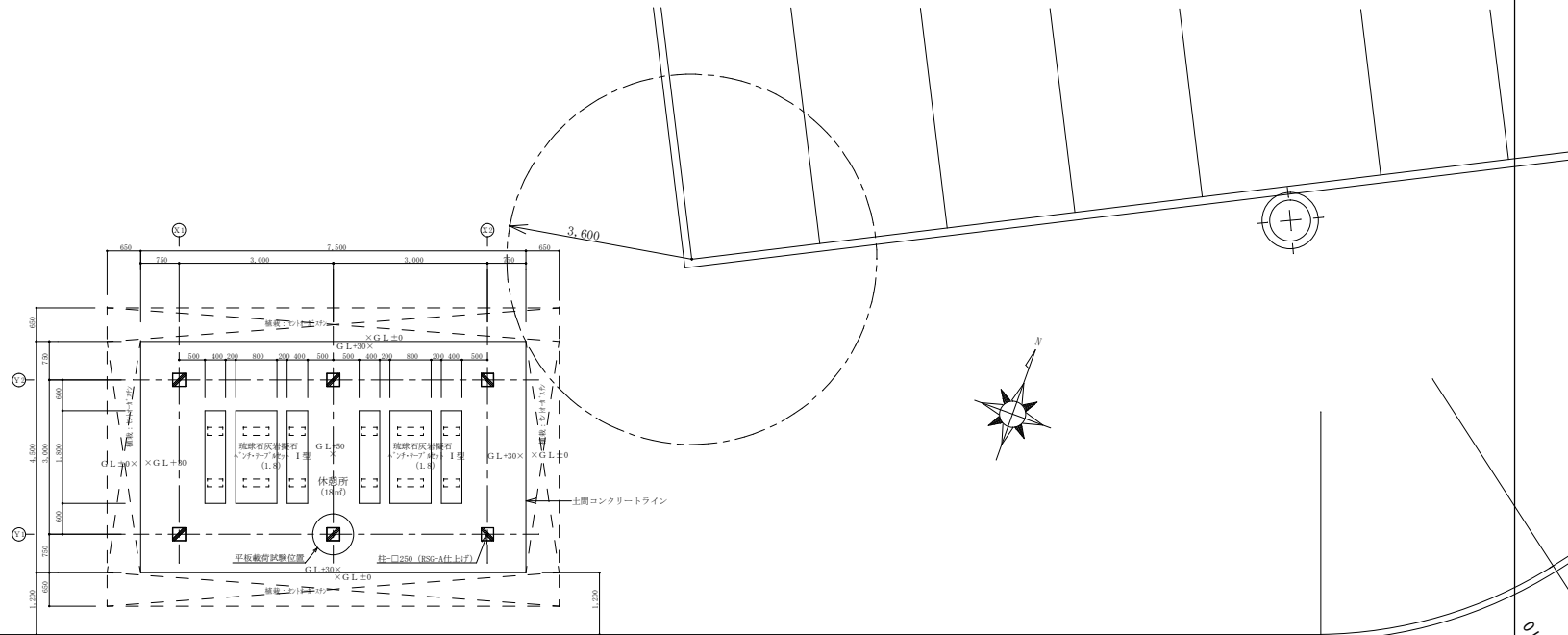
部 位	仕 上
屋 根	卓面断熱瓦葺き(屋根版ジョイント部分はウレタン塗膜防水処理) (PC工事)
屋根裏天井	RSG-A仕上 (PC工事)
梁	RSG-A仕上 (PC工事)
庇 裏	RSG-A仕上 (PC工事)
柱	RSG-A仕上 (PC工事)
テーブル	RSG-A仕上(天端はサンドペーパー200番程度以上仕上) (PC工事)
イ ス	RSG-A仕上(天端はサンドペーパー200番程度以上仕上) (PC工事)
土 間	シガラ金繰仕上げ(薄張物下地程度) (在来工事)

※ RSG-A仕上部分については全て琉球石灰岩用の根水剤処理とする (PC工事)

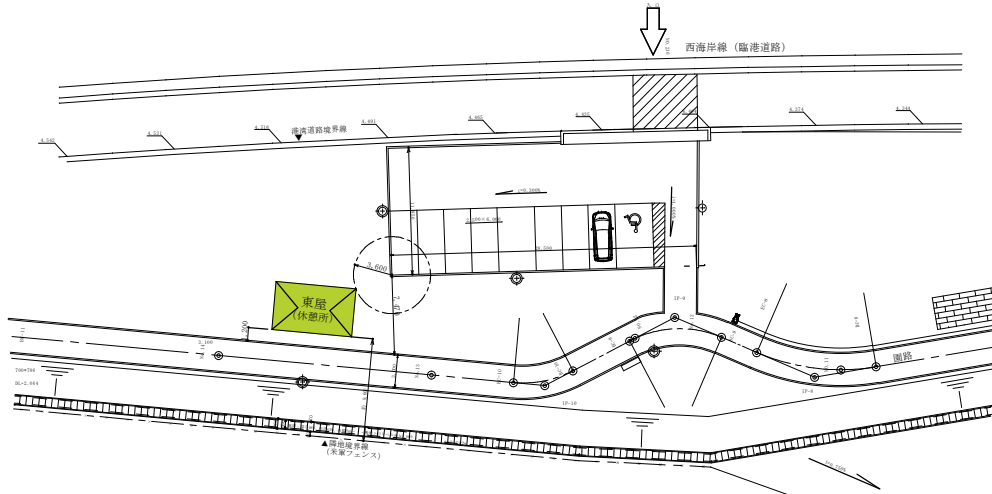
- 1) 国土交通省告示第1113号対象建材はJAS、JISによる
ホルムアルデヒド放散等級3 (F☆☆☆☆) の建材を使用する。
- 2) 個別認定番号表の製品 (F☆☆☆☆) 使用を原則とする。

■平板載荷試験

- ※ 載荷試験実施前に載荷試験要領書を提出し承諾を得ること
- ※ 計画最大荷重に対し、120%以上の載荷能力があること
- ※ 載荷板に偏心荷重が作用しないよう地盤は水平で平滑な面に整形すること
- ※ 載荷試験に影響のする天候、気象の変化に気をつけること
- ※ 報告書を提出し監督員の承諾をもって次工程に移すこと

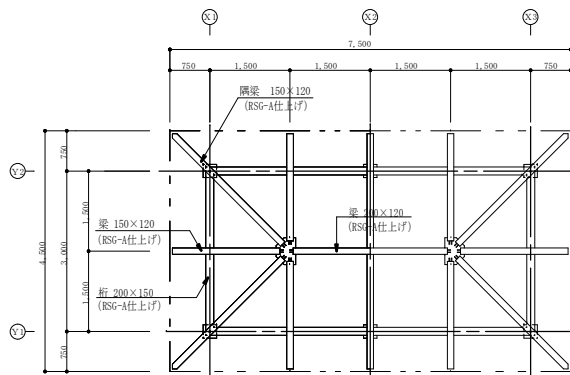


平面図 S=1:100

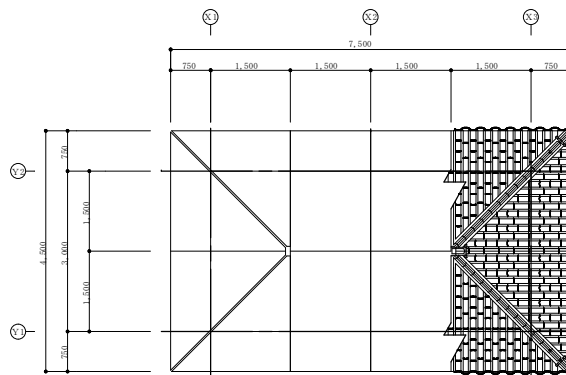


配置図 S=1:500

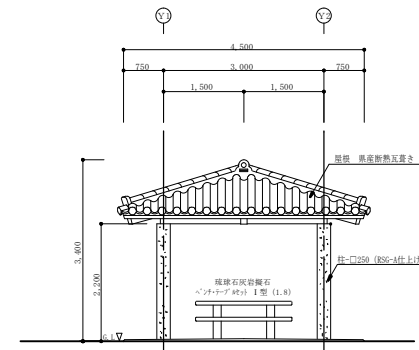
工事名称	浦添ふ頭緑地(東)利便施設整備工事(第2)	工事年度	令和2年度
工事場所	那覇港浦添ふ頭地区	図面名称	仕上表・配置図・平面図
発注機関	那覇港管理組合	縮 尺	1/100 1/500
備 考		図面番号	A-09
検 印	管理建築士 設 計 製 図	名 称	株式会社フォーム建築研究所
		資格者氏名	1級建築士 平良 俊夫
		登録番号	沖縄県知事登録 第182-2596号 一般建築士登録 第109691号
		所在地	浦添市伊祖1丁目32番6号



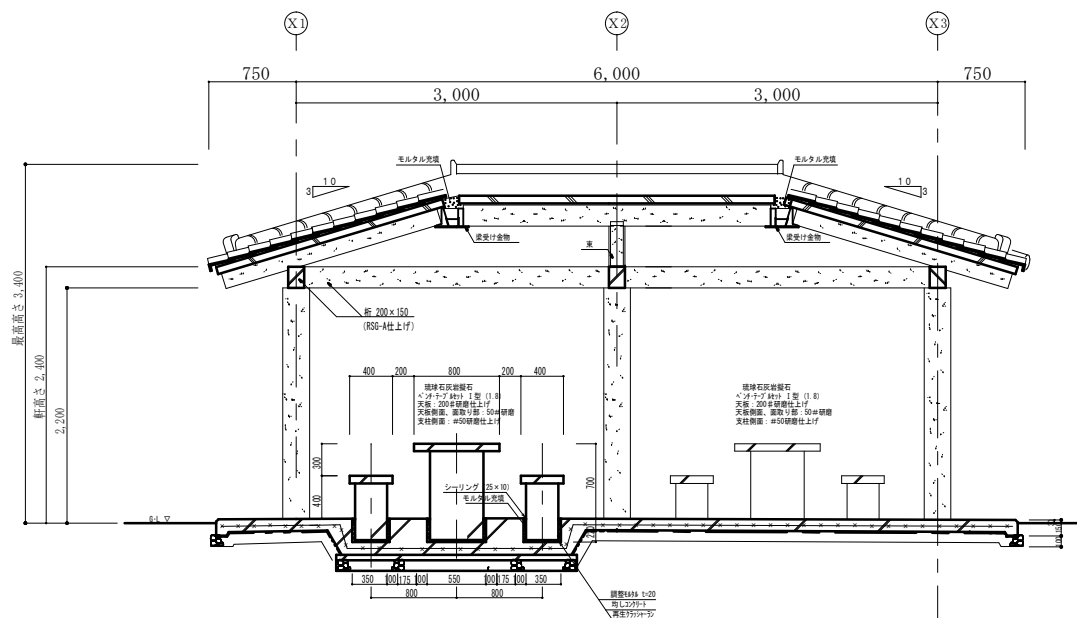
小屋伏図 S=1/100



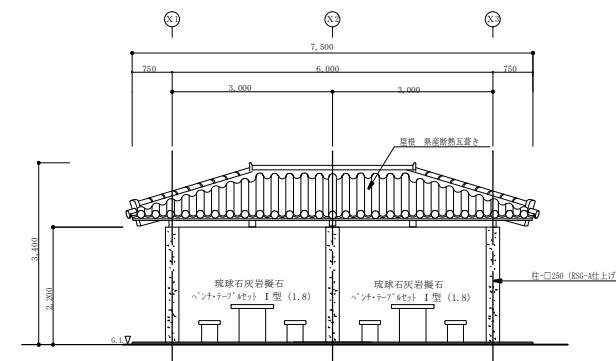
屋根伏図 S=1/100



東・西立面図 S=1/100



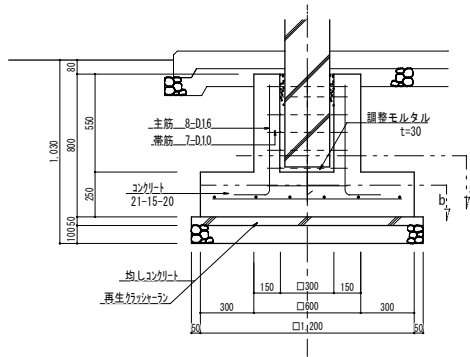
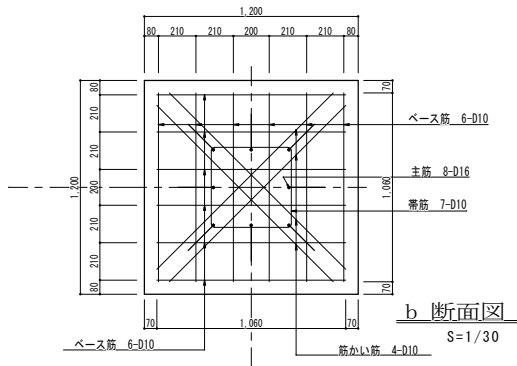
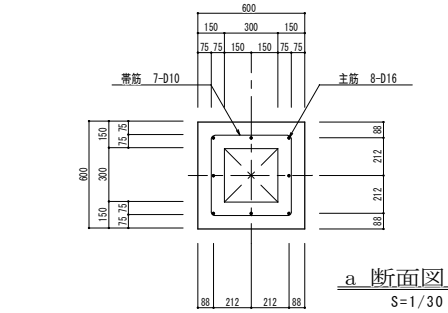
長辺方向断面詳細図 S=1/100



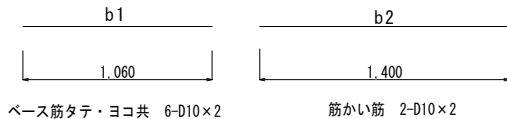
北・南立面図 S=1/100

- 〈特記事項〉
- ※ 製品は (社) 日本公園施設業協会、SPL表示認定製品 (RSG-003-6 A型) 、又は、同等品とする。
 - ※ 承認、承認に先立ち、(社) 日本公園施設業協会、公園施設団体賠償責任保険加入証の写しを提出する。
 - ※ 製品のRSG-A仕上について、サンプルを提出し、承認、承認を得る。
 - ※ 製品のテーブル・ベンチ及び柱は面取りとする。
 - ※ 製品で使用する鉄骨・鋼材・塗料等は、全て亜鉛めっき材 (ZSS) とする。(基礎部を除く)
 - ※ 基礎は、現場監督員との協議のもと承認を得る事とする。
 - ※ 工事の施工に際し、着手前に設計図を充分照査し、不明な点等しくは疑義が生じた場合には現場監督員の指示説明をうける事。
 - ※ 柱、椅子、テーブル等の出隅は全て面取りとする

工事名称	清瀬ふ頭緑地(東)利便施設整備工事(仮)	工事年度	令和2年度
工事場所	那覇港清瀬ふ頭地区	図面名称	小憩伏図・屋根伏図・立面図 1/100
発注機関	那覇港管理組合	縮尺	長辺方向断面詳細図 1/50
概要		図面番号	A-10
設計者	管理建築士 設 計 製 図	名称	株式会社 フォーム建築研究所
検印		資格者氏名	1級建築士 平良 俊夫
		登録番号	沖縄県知事登録 第182-2386号 （登録業種番号 第10891号）
		所在地	清瀬市伊祖1丁目32番6号



鉄筋加工図
基礎1箇所当たり

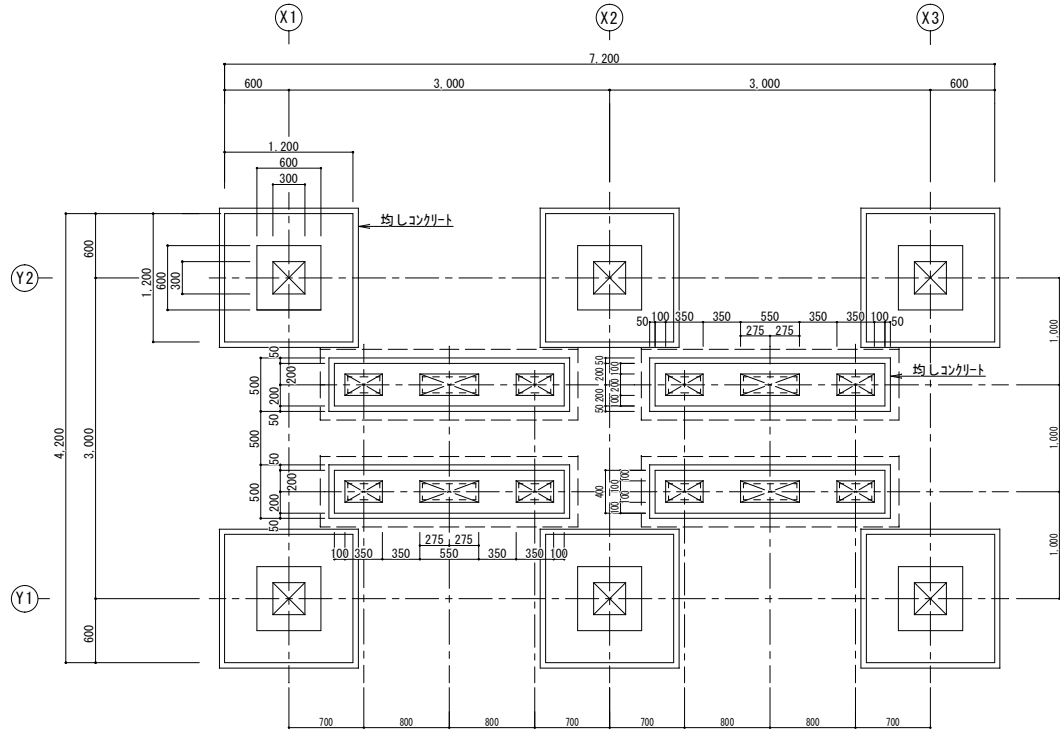
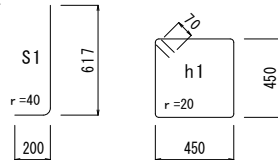


鉄筋数量表（基礎1箇所当たり）※SD295A使用					
記号	径	単位重量 (kg)	1本当り長さ (m)	本数	重量 (kg)
b1	D10	0.56	1.060	12	7.12
b2	D10	0.56	1.400	4	3.14
h1	D10	0.56	1.940	7	7.61
S1	D16	1.56	0.817	8	10.19
					D10 17.87 kg
					D16 10.19 kg

コンクリート強度

土間コンクリート： 21-15-20
基礎コンクリート： 21+α-15-20
均しコンクリート： 18-15-20

※ 基礎コンクリートについては
平均気温による強度補正(α)をする事

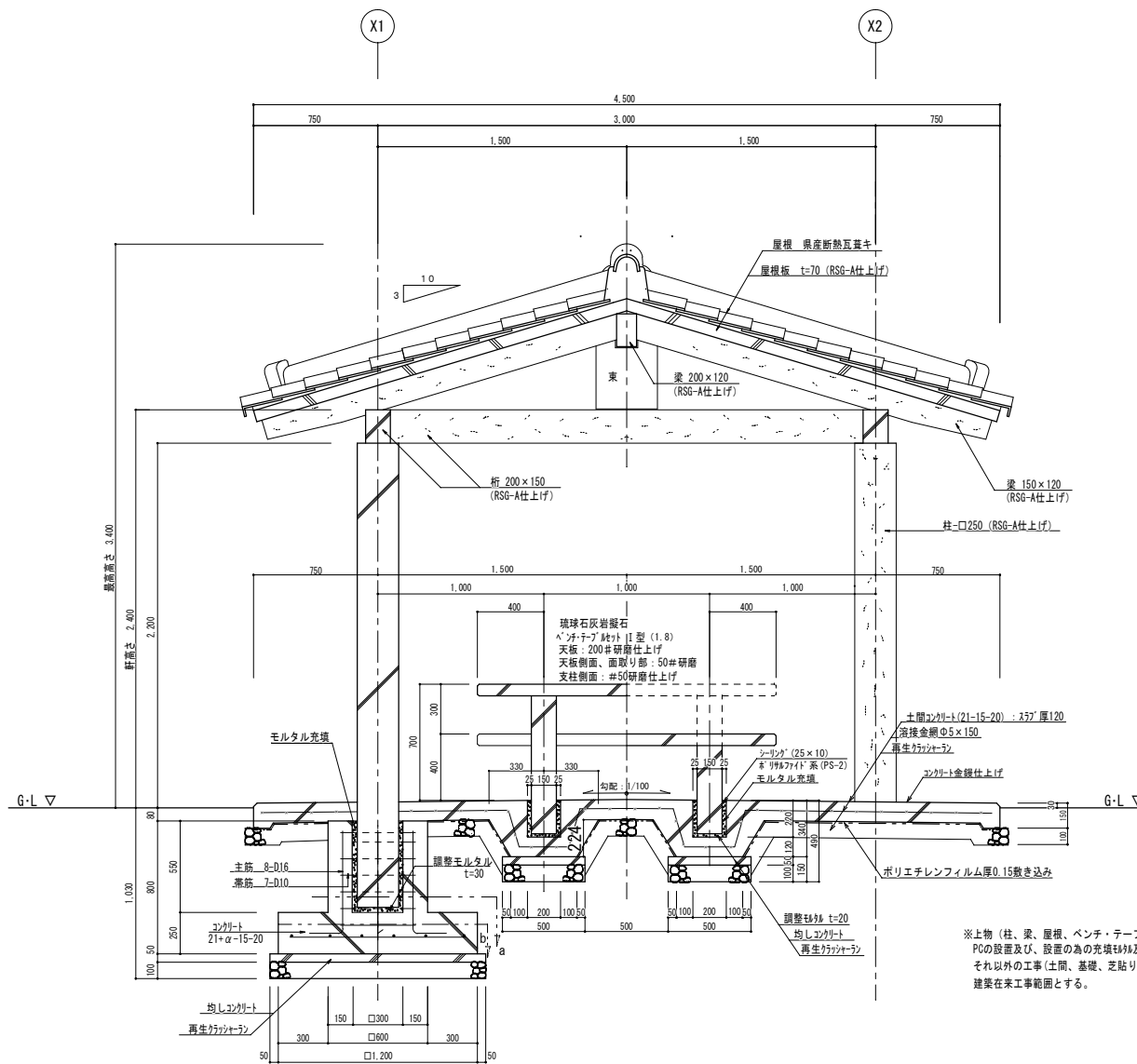


基礎伏図 S=1/50

特記事項

- ※ PC製品で使用する鉄筋・鋼材・連結金物は、全て亜鉛溶融材材（Z55）とする。（基礎部を除く）
- ※ 基礎は、現場監督員との協議のもと承諾を得る事とする。
- ※ 工事の施工に際し、着手前に設計図を充分照査し、不明な点若しくは疑義が生じた場合には
現場監督員の指示説明をうける事。

工事名称	浦添ふ頭緑地(東)利便施設整備工事(ⅱ)	工事年度	令和2年度
工事場所	那覇港浦添ふ頭地区	図面名称	基礎伏図・基礎断面図・配筋加工図
発注機関	那覇港管理組合	縮 尺	1/50、1/30
検 印	図面番号		A-11
	名 称	株式会社フォーム建築研究所	
	資格者氏名	1級建築士 平良 俊夫	
	登録番号	沖縄県知事登録 第182-2286号 一般建築士登録 第108691号	
所在地		浦添市伊祖1丁目32番6号	



断面詳細図 S=1/30

工事名称	浦添ふ頭緑地(東)利便施設整備工事(Ⅱ)	工事年度	令和2年度
工事場所	那覇港浦添ふ頭地区	図面名称	配計画
発注機関	那覇港管理組合	縮尺	1/30
摘要		図面番号	A-12
検印	管理建築士 設計 製 図	名称	株式会社フォーム建築研究所
		資格者氏名	1級建築士 平良 俊夫
		登録番号	沖縄県知事登録 第182-2284号 一級建築士登録 第18881号
		所在地	浦添市伊祖1丁目32番6号